Dance Drill All Japan Competition 2026-2027

Japan Dance Drill Championship

大会要項

1. 大会名称 Japan Dance Drill Championship / 全日本ダンスドリル選手権大会

2. 期　　日 ＷＥＳＴ　2026 年 12 月 26 日(土)
ＥＡＳＴ　2027 年 1 月 6 日(水)
映像審査　2026 年 12 月 13 日(日) 映像提出〆切・1 月下旬審査結果送付予定

3. 会　　場 ＷＥＳＴ　茨木市文化・子育て複合施設おにクル(大阪府茨木市駅前 3-9-45)
ＥＡＳＴ　有明コロシアム(東京都江東区有明 2-2-22)

4. 主　　催 NPO(特定非営利活動法人)ミスダンスドリルチーム・インターナショナル・ジャパン

5. 大会参加費 「諸経費の上昇に伴い、2026 年 9 月より価格を改定いたします。」
1 エントリー毎、チーム参加費 **25,000 円**(5 名分の参加費含む)参加者 1 名追加につき **5,000 円**追加。4 名以下で参加の場合もチーム参加費 25,000 円が必要となる。
最低出場人数 3 名(2 名以下でのエントリー不可)

6. エントリーについて

① 参加同意書について
本大会要項・ルールブックをはじめ本法人の定める諸規定・ルールを確認・了承の上、代表者・選手・保護者の理解の元に参加同意を得た上で本大会へエントリーすること。
大会参加にあたり“参加同意書”(ホームページ Top ページ右上“各種書類”より取得)をエントリー受付完了後、速やかに**参加同意書提出フォーム**より提出すること。
提出フォームはチーム登録完了後、お知らせする出場団体専用ページに掲載する。

② エントリー受付
＊ エントリー総数には上限がある。エントリーは先着順。(予定エントリー定数は特設ページに掲載)
＊ エントリーは WEB 上のフォームで行う 1.チーム登録と Excel シートで行う 2.選手登録の二段階で行う。
＊ 1.チーム登録及び 2.選手登録の受付をもってエントリーとする。

③ 複数部門へのエントリー
＊ 1 名につき同日内 2 エントリーまで可。
＊ 複数部門に出場する場合は重複関係がわかるよう 2.選手登録シートに記載すること。

④ 映像審査(演技評価のみ)
＊ 規定に則り撮影・提出された映像をもって審査を行う。
＊ 映像審査は演技評価のみで表彰対象外とする。
＊ 撮影方法および提出方法は別紙「映像審査撮影ガイドライン」(ホームページ内“各種書類”より取得)を参照。
＊ 映像提出について
2026 年 12 月 13 日(日)までに出場団体専用ページに公開する映像審査提出フォームより提

出すること。

＊ 審査結果送付時期
2027 年 1 月下旬に発送予定。
＊ 映像審査はエントリー総数に上限はない。

⑤ エントリー方法およびエントリー期間
＊ 特設ページより参加希望の日時・会場を選択の上、1.チーム登録を行うこと。
WEST申込 **2026 年 9 月 30 日(水) 12 時～24 時まで**
EAST申込 **2026 年 10 月 7 日(水) 12 時～24 時まで**
映像審査申込 **2026 年 10 月 14 日(水) 12 時～24 時まで**
申込期間中でもエントリー定数に達した時点でエントリーを締め切る。
＊ エントリー締め切り後(エントリー当日予定)に大会事務局より確認メールを送信する。
確認メールを受信するまで電話での問い合わせ・受付前の入金は行わないこと。
＊ 2.選手登録シートは確認メールに記載のリンク先より取得すること。
＊ 2.選手登録シート提出期限
ＷＥＳＴ 2026 年 10 月 4 日(日)中
ＥＡＳＴ 2026 年 10 月 11 日(日)中
映像審査 2026 年 10 月 18 日(日)中
＊ 大会参加費入金期限
ＷＥＳＴ 2026 年 10 月 7 日(水)中
ＥＡＳＴ 2026 年 10 月 14 日(水)中
映像審査 2026 年 10 月 21 日(水)中
＊ パンフレット掲載用写真の提出期限 ※映像審査提出不要
タイムテーブル確定版掲載後、下記の期日までに出場団体専用ページにある写真提出フォームより提出すること。
ＷＥＳＴ 2026 年 11 月 12 日(木)中
ＥＡＳＴ 2026 年 11 月 19 日(木)中

⑥ エントリーの注意事項
＊ 1.チーム登録フォームに入力漏れ、不備があった場合は**無効**となる。
＊ 2.選手登録シートは **Excel 形式**のみ受付可。Numbers・PDF 等その他のファイル形式は受付不可。
＊ エントリー後の増員、メンバー変更は参加費の入金期日までに修正した 2.選手登録シートを再度提出すること。
＊ 同一内容のエントリーを複数行った場合は同一団体からのすべてのエントリーを**無効**とする。
＊ 1.チーム登録後の大会区分・出場日の変更はできない。
＊ エントリー後に欠員などでエントリー人数が 2 名以下になった場合、**審査は行うが表彰対象外とする。(スコアシート・ジャッジシートは渡す)**
＊ 理由の如何にかかわらず**大会参加費は返還しない。**

7. 大会時の引率・音響係について

- 引率登録
  - ★ 大会当日はエントリーごとに引率 2 名を登録・帯同することができる。
  - ★ 引率の登録はエントリー時に 2.選手登録シートに記載すること。
    エントリー時に引率者が確定していない場合は引率予定者を記入し確定後速やかに再提出すること。
  - ★ 参加費は不要。大会当日は登録選手と行動を共にすることができる。
- 引率について
  - ★ 引率責任者は **18 歳以上**に限る。
  - ★ 引率登録者は別に定める大会規約に則り大会出場に関するチームの責任の一切を負う。
  - ★ 大会当日の選手受付は引率登録者が行うこと。
    受付には必ず登録した引率者(最大 2 名)が揃って来ること。
    その際、顔写真付の身分証明書のチェックを行う。
    詳細は後日、出場団体専用ページに掲載される注意事項にて確認すること。
- 音響係について
  - ★ 引率登録者内で大会当日の音響係を定めること。
  - ★ 大会当日、持参した音源再生用デバイスでの再生に不備がないか確認すること。
  - ★ 本番演技時音響席にて持参した**音源再生用デバイス**(デジタルオーディオプレイヤーまたはスマートフォン)を使用して音源の再生を行う。
    主催者が準備をする 3.5mm ステレオミニプラグ(イヤホンプラグ)を持参した音源再生用デバイスに自身で接続すること。
  - ★ 音源再生用デバイスに収めたものと同様の予備音源(USB メモリ)を持参すること。
  - ★ 13 項「演技前、演技中の中断について」(2)、(3)の申告・申請の判断をすること。

8. 実施部門及び編成

① 実施部門

Pom 部門・Hip Hop 部門・Jazz 部門・Dance Drill 部門

② 編成と出場資格

編成	出場資格
Mini	出場選手全員が小学校 4 年生以下
Youth	出場選手全員が小学校 6 年生以下
Junior	出場選手全員が中学生以下
Senior	出場選手全員が高校生以下
Open	年齢による出場制限なし

＊ 参加数が多い部門は人数により Small 編成、Large 編成に分ける場合がある。

9. 演 技 時 間

① Pom 部門、Hip Hop 部門、Jazz 部門　2 分 15 秒以内

Dance Drill 部門　2 分 **30 秒**以内

② 演技時間とは動き出しもしくは曲の始まりから、動き終わりもしくは曲の終わりまでとする。

10. 表彰について

①〈部門賞〉

各部門 1 位から 3 位を表彰する。

②〈総合〉

部門全てを通じて最高得点団体をグランドプライズ(１位)として表彰する。

11. 演技フロア

a) 演技フロアは 12mX12m。Dance Drill 部門のみ縦 15m×横 28m とする。

b) 演技フロアの中央に縦のラインを引く。さらにセンターポイントとして横に 1 m ラインを引く。

c) 全ての演技は演技フロアの中で行わなければならない。
ただし、ラインオーバーによる減点はない。

d) 演技フロアの保護のため、床に傷や跡のつく恐れのあるシューズは避けること、また、安全面を考慮して、ダンスに適したシューズを着用すること。(ヒール、革靴、サンダル等は不可)
また演技に使用するバトン、プロップ等にはゴム等を装着し床に傷を付けない工夫をすること。

12. 音源について

a) 9 項が定める演技時間内に収まるよう編集すること。

b) 編曲されている場合でも 1 曲として編集すること。

c) 違法ダウンロードによる楽曲(サンプル楽曲含む)を使用しないこと。

d) 本番演技で使用する音源は各チームが持参する音源再生用デバイス(デジタルオーディオプレイヤーまたはスマートフォン)にて再生する。

e) タイムテーブル発表後、下記提出期日までに別紙「大会使用音楽届出」(ホームページ Top ページ右上“各種書類”より取得)に必要事項を入力の上、出場団体専用ページに公開する大会使用音楽届出提出フォームより提出すること。

★ 大会使用音楽届提出期日

＜ＷＥＳＴ＞2026 年 12 月 19 日(土)中

＜ＥＡＳＴ＞2026 年 12 月 26 日(土)中

＜映像審査＞2026 年 12 月 13 日(日)中

f) 楽曲は 14 項の①の(2)に則り選択すること。
特に日本語以外の歌詞の楽曲を使用する際はその歌詞に不適切な言葉・表現がないか必ず確認をすること。

13. 演技前、演技中の中断について

(1) 怪我等の発生、施設・音響機材の不具合、道具類のトラブル等の不測の事態が発生した場合は主催者の判断で演技を中断することができる。

(2) チームの音響係による主催者音響スタッフへの申告で演技を中断することができる。

(3) 演技の中断が発生した場合、再演技の申請をすることができる。

(4) 再演技は 1 曲通しで行うこととし審査は演技中断以降の部分のみが対象とする。

(5) 再演技の可否および実施タイミングは主催者が判断する。
(6) チームの過失による中断は原則再演技を認めない。
(7) チームの過失による演技順の変更は原則行わない。

14. 競技ルール

① 共通審査項目

【身だしなみ・楽曲】

(1) シューズを必ず履くこと。(スキンシューズ等は可)
(2) 音楽・衣装・振付・メイクは選手の年齢に適したすべての年代の観客にふさわしい内容であること。
公序良俗に反する挑発的・攻撃的・性的・下品な表現/ものを避けること。
(3) 不適切な音楽・衣装・振付・メイクは審査員の採点に影響を与える可能性がある。
(4) すべての衣装は安全かつクリーンで過度な露出は控えること。スカート・ブリーフ・ホットパンツ等、丈の短い衣装の場合は必ずタイツを着用すること。演技中の着衣の乱れはその程度により警告、減点、失格となる場合がある。
(5) 衣装の一部としてアクセサリーを着用することは可。但し、ネックレス等を含む装飾品全てにおいて、演技中に顔にかかったり、危険のないようにしっかりと固定すること。

【小道具】

(1) Pom 部門・Jazz 部門・Hip Hop 部門においてプロップ（小道具）は使用してはならない。ただし、衣装の一部として身に着けているものを外して使用することは可。
(2) Pom 部門におけるポンポンは衣装の一部とみなされる。
(3) Dance Drill 部門においてスタイル(プロップ・メジャーレット・ショートフラッグ・ノベルティなど)に応じた適切なプロップ（小道具）は衣装の一部とみなされる。

② 部門定義

(1) Pom 部門・Jazz 部門・Hip Hop 部門
上記三部門は国際チア連合(ICU)により規定されたルールに則って行う。
こちらより「II. SPECIFIC ROUTINE GUIDELINES」の「C. CATEGORY DEFINITIONS」(32P)を確認すること。
(2) Dance Drill 部門
こちらより「10.審査項目」の「(2)部門定義、規定」(9-13P)を確認すること。

③　部門毎の審査ポイント

<table>
<tr><th></th><th colspan="2">テクニックの実施</th><th>グループでの実施</th><th>振付</th><th>全体の印象</th></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">30 点</td><td>30 点</td><td>30 点</td><td>10 点</td></tr>
<tr><td>Pom</td><td>● カテゴリースタイル
POM モーションテクニックの質：正しい形、コントロール、正確さ、強さ、完成度。</td><td rowspan="4">● 動き
強さ、迫力、正しい形、コントロール、存在感を伴った動きの実施

● テクニカルスキル
正しい位置、身体のライン、コントロール、引き上げ、バランス、強さ、完成度を伴った適切なスキルレベルの実施</td><td rowspan="4">● 同調性/音楽とのタイミング
チームメンバーの同調性。音楽との同調性

● 動きの均一性
全員の動きの均一性（クリーン、クリアー、正確）

● 位置間隔
パフォーマンスエリアにおける、ルーティン中、移動中における選手間の間隔の均一性</td><td rowspan="4">● 音楽性
音楽のアクセント、リズム、テンポ、フレーズ、歌詞、スタイルをいかしたクリエイティブでオリジナリティのある動き

● フロアの使用/視覚的効果
スムーズな移動と様々なフォーメーションの利用。グループワーク、パートナーワーク、フロアーワーク、リフト、高さの変化、などを使用した視覚的インパクトのあるステージング。

● 動きの複雑性
テンポ、体重移動、方向転換、接続性、連続性、動きの複雑さなどの動きの難度。正しいテクニカルの実施に基づくスキルの難度。</td><td rowspan="4">● 観客とのコミュニケーション

● 計画性

● 観客へのアピール

● 音楽･衣装･振付・メイクが選手の年齢に適正か</td></tr>
<tr><td>Hip Hop</td><td>● カテゴリースタイル
本物のヒップホップ/ストリートダンススタイルの質。グルーヴ感</td></tr>
<tr><td>Jazz</td><td>● カテゴリースタイル
動きの連続性。スタイル実施の質、引き上げ、押し出し/身のこなし。</td></tr>
<tr><td>Dance Drill</td><td>● カテゴリースタイル
Dance Drill のスタイル（プロップ･ミリタリー･メジャーレット・ショートフラッグ・ノベルティなどの正確な実施</td></tr>
</table>

④　セーフティガイドライン(安全規定)

本大会では安全に競技を行うために下記のセーフティガイドライン(安全規定)を設定する。

(1) Pom 部門・Jazz 部門・Hip Hop 部門

こちらより「III. SAFETY RULES - BY GENRE & LEVEL」の
各部門の「PREMIER DIVISION RULES」、「IV. GLOSSARY OF TERMS」（32-38P）を確認すること。

(2) DANCE DRILL 部門

(1)**単独で行う技**

1. 倒立技（個人の腰が、頭・肩より高い状態で静止、フリーズ、または弾みをつける技）
   a. 空中で行わない場合は実施可。(例：三点倒立)
   b. 手の支持を伴う空中で行う倒立技は体重がかかる手に手具(ポンポン、バトンなど)を持ってはいけない。
   c. 手の支持を伴う空中で行う倒立技で、逆さ直立の状態、もしくは肩から逆さになる状態で着地するものは手具(ポンポン、バトンなど)を持っていない限り実施可。
2. 腰が頭を超える回転技
   a. 空中で行わない場合は実施可。
   b. 手の支持を伴う場合は、体重がかかる手に何も持ってはいけない。(例外：前転又は後転は実施可)

c. 手の支持を伴う空中で行う技は、腰が頭を超える回転技 2 連続まで実施可。
d. 手の支持を伴わない空中で行う技は、以下の全ての基準を満たす場合、実施可。
   i. 捻り技は 1 回まで実施可。
   ii. 手の支持がない腰が頭を超える回転を含む空中技とつなげて実施してはならない。
   iii. 2 連続まで実施可。

3. 腰が頭を超える回転技で、同時に選手同士がお互いの体の上下を通過する技は実施不可。
4. 空中から足の裏以外で着地することは禁止とする。技の失敗もこれに含む。ただし腰の高さを上回らない空中からであれば肩、背中、座位での着地は実施可。
5. 体を支える手に手具(ポンポン、バトンなど)を持った状態で、体の前方から後方に両脚を振り回してジャンプする空中技から腕立て伏せの体勢での着地は実施不可。

(2)**ペアやグループで行う技**

1. トップの選手の技の高さがベースの選手の平均的な肩の高さを超える場合は、少なくとも一人のベースの選手が演技フロアに接地し続けなければならない。
2. ベースの選手の平均的な頭の高さを超える技を行う場合は、その技全体を通して少なくとも一人のベースの選手がトップの選手に触れ続けていなければならない。

   例外：一人のトップの選手が一人のベースの選手から完全に離れる場合は、高さを問わず以下の条件下のみで実施可。

   a. トップの選手がリリース後、逆さ(ウエスト・腰・足が頭・肩よりも高くなる体勢)になってはならない。
   b. トップの選手は、一人または複数のベースの選手によりキャッチされるか、着地をサポートされなくてはならない。
   c. トップの選手はうつ伏せの体勢で受け止められてはならない。
   d. ベースの選手は技の実施を通してサポート、キャッチ、リリースをする際、手に何も持ってはいけない
3. トップの選手の腰が頭を超える回転技は、トップの選手が演技フロアに着地、もしくは直立の状態に戻るまで、少なくとも一人のベースの選手と触れ続けなければならない。
4. トップの選手がベースの選手に体重を預け倒立姿勢になり、静止、フリーズ、弾みをつける場合は以下の条件下で実施可。
   a. トップの選手が演技フロアに着地、もしくは直立の状態に戻るまで、少なくとも一人のベースの選手と触れ続けなければならない。
   b. トップの選手の肩の高さがベースの選手の平均的な肩の高さを超える場合、ベースの選手とは別に少なくとも一人のスポッターをつけること。(補足：ベースの選手が三人いる場合、スポッターは不要。)

(3)**ペアやグループで行う技の演技フロアへの着地について**

1. トップの選手がサポート選手からジャンプ・リープ・ステップ・手で押し出して着地する場合は以下の条件下で実施可。
   a. リリースの最高到達点において、トップの選手の腰がベースの選手の平均的な頭の高さ超えてはならない。
   b. リリース後、トップの選手はうつ伏せ及び逆さの体勢を通過してはならない。

2. ベースの選手がトップの選手をトスする(ベースの選手がトップの選手から手を離す)場合は以下の条件で実施可。
   a. トスの最高到達点において、トップの選手の腰がベースの選手の平均的な頭の高さを超えてはならない。
   b. リリース時、トップの選手は仰向け及び逆さの体勢になってはならない。
   c. リリース後、トップの選手はうつ伏せ及び逆さの体勢を通過してはならない。

15. ペナルティ（全部門共通）

① エントリー資格を有さない者が出場した場合、**失格**とする。

② エントリーした選手以外、または多い人数が出場した場合、**失格**とする。

③ 9 項が定める演技時間の超過があった場合は以下の通り結果より**減点**する。

超過時間	減点
5〜10 秒	**1 点**
11 秒以上	**3 点**

④ 11 項 d)演技フロア保護の為の適切な処置がされなかった場合、**失格および修繕の為の実費を請求する。**

⑤ 12 項 c)違法ダウンロードによる楽曲(サンプル楽曲含む)の使用が発覚した場合、**失格**とし発覚のタイミングを問わず**結果をはく奪**する。

⑥ **14 項④セーフティガイドライン**が定める禁止事項一回の実施につき結果より **3 点減点**する。

⑦ 審判員が危険とみなした行為を実施した場合、その程度により**警告**、**減点**、**失格**とする。

⑧ その他、本大会要項及び別に定める大会規約に反した場合、その程度により**警告**、**失格**とする。

16. 大会に関する問い合わせ

NPO(特定非営利活動法人)ミスダンスドリルチーム・インターナショナル・ジャパン
問い合わせメールアドレス：info@dancedrilljapan.com
ホームページ http://www.dancedrilljapan.com/
郵送での提出先：〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-5-20 押田ビル 3F　電話番号 03-3556-6080

減点項目に関する演技内容の質問は該当箇所を撮影した映像データを添付して大会二週間前までにメールすること。